

ほんもの　　ハッピー

真 の成 功を 目指して・・・

おわりに

この小冊子を書き始めた当初、正直言いまして、少しの躊躇がありました。
というのも、「サイドビジネス業界の裏側を話し過ぎてしまえば、私自身、業界内で多くの敵を作ってしまうのではないか？」という不安があったからです。

しかし、今のままでは間違いなく、昔の私同様、多くの失敗者を生み続けることになるでしょうし、今後、益々サイドビジネス業界が悪化の一途を辿ってしまうだろうと思ったため、この小冊子を書くことにしたのです。

当初、約70ページ程度の小冊子にしようと予定していたのですが書いていくに従い、過去の経験や様々な想いがどんどん蘇り、気づけば250ページもの原稿になっていました。

正直、まだまだお伝えしたいことは山ほどあるのですが、この小冊子が一人でも多くの方の、何らかのキッカケになればと願って書きました。

もちろん、私なりに一生懸命書きましたが、文章も下手くそですし、奇麗事を並べたような胡散臭い文章だと感じたかもしれません。

しかし、腐りかけた業界に誰かがメスを入れなきゃ、本当に腐ってしまいます。

私は本当にサイドビジネスが大好きですし、これほどまでにエキサイティングで素晴らしいものはないと思っています。

ですから、この業界を腐らせたくない、イメージの悪いものにしたくない、そしてもっともっとクオリティーを高めていきたい……そう願っているのです。

何故なら、このサイドビジネス業界が悪化していけば、そこに携わっている私自身や多くの大切な仲間達も生きて行けないからです。

正直言いまして、近年のサイドビジネス業界は、特に「マネーゲーム化」「ギャンブル化」「参加者の意識とモラルの低下」が非常に目立ってきています。

自動車も扱い方が正しければ快適で便利な道具になりますが、マナーやルールを破り、間違った扱い方をすれば人を殺す鉄の塊となります。

ナイフも扱い方が正しければ、手術用のメスとして、人の生命を救うものとなりますが、扱い方を間違えれば人を殺傷する凶器と化します。

それと同じでサイドビジネスも、その情報を扱い実践していく人のモラルやマナー、人間性により、良くも悪くもなるのです。

お金儲けのことばかり考えるあまり、多くの方はモラルやマナー、ルールを無視し、人々を美味しい話で釣ろうとします。

しかし、それは結果的に互いを破滅に追いやることになってしまうのは目に見えています。

正直、私も過去には、お金儲けのことしか頭になく、自分の本心に背き、他人を誤魔化しながらビジネスに取り組んでいた時期があります。

しかし、それは結果的に他人も、そして自分自身も傷つけてしまうという避けられない事実を嫌というほど経験してきました。

多くの友人も失い、他人や家族からの信用も、財産も全て失った時期があります。

初めは軽い気持ちで始めたはずの副業(サイドビジネス)が、いつしか私を金の亡者に変え、間違った方向に進ませたのです。

そして、その結果何もかも失い、どん底に落ちました。

しかし、その過ちに気づき、目が覚めた時、初めて気づいたのです。

「サイドビジネスはお金儲けのためだけにやるものじゃない」と。

周りの人の支えや協力がなければ決して自分は這い上がれなかったということが痛いほど分かり、今度は自分自身が他人の支えや協力をしていかなければいけないと心から思えたのです。

結局、人間は一人では何もできませんし、生きてはいけません。

しかし、えてして、「自分さえ儲かればいい」「自分さえ良ければ他人の事は知ったこっちゃない」という自己中心的な考え方になってしまう人が多いのではないのでしょうか。でも、そんな考えで金儲けできたとしても、それは幸せとは言えません。

お金を持っていたても、信頼し合える仲間がいないと寂しいものです。他人を踏み台にして自分だけ金儲けしても心地いいわけがありません。必ず罪悪感が残るものです。

大切な人と、成功を共有してこそ本当にハッピーなのです。

経験がある方ならお分かりいただけるかと思いますが、自分の成功より、仲間の成功を手伝って、それが達成された時の喜びや感動というのは、言葉では言い表せないくらい大きいものがあります。

今の世の中、悪徳なことをして金儲けしている人間がいる反面、真面目に精一杯頑張っている人が報われないという矛盾したこともよくある話です。

でもこんなことがあってはいけません。

本当に周りの人のことを考えて、精一杯頑張っている人が報われるような業界にしなければ駄目です。誰に対しても胸を張って誇りに思える仕事をしていくことができれば、この業界も少しは良い方向に向いていくと信じています。

そのために私たちは学んでいかなければいけません。

自分自身を向上させていかなければいけません。

人格を高めていかなければいけません。

サイドビジネスに携わる、ひとりひとりのモラルが問われるのです。

ひょっとすれば、この小冊子は、現在サイドビジネスに燃えに燃えている方に対して水を差した内容になっていたかもしれません。

「こんなことまで書かなくていいじゃないか」と反感を買うかもしれません。

しかし、前述したように間違ったやり方をしてでも、うまくいく人が存在する影には多くの失敗者や脱落者、悲しみに暮れている方が無数に存在していることを決して忘れてはいけません。

また、過去に一度でもサイドビジネスに取り組んだものの失敗に終わり、今ひとつ、やる気が起きないという方も諦めないでください。

それは、ただ単にあなた自身が間違った常識や、やり方、考え方を植えつけられていただけに過ぎません。

あなた自身が精神的に「辛い、きつい」と思うようなビジネスは、他人も同じように「辛い、きつい」と思っているのです。

そのようなビジネスのやり方を続けていっても不幸な人を増やしてだけです。

しかし、サイドビジネスの正しい判断基準と、確かな組織を選択することができれば、あなたも必ずサイドビジネスで成功することができます！

確かに、悪質なビジネスは無数に存在しますが、少なからずとも、健全にしっかりとした理念と考え方を持った組織は必ず存在します。

この小冊子の内容を実践していけば、必ずあなたはそういった良質なビジネスと組織に巡り合うことができるでしょう。その架け橋となることを願って、この小冊子を書きました。

これからの時代、本物しか生き残っていきません。

間違ったやり方や、考え方で進めているビジネスや組織は必ず淘汰されていきます。また、他者依存や他力本願の精神を持ち続けたままでは決して生きて行けない世の中なのです。

今後、益々、自己責任と自立の精神が問われる時代になっていきます。

そのためには、私たちひとりひとりが、歪んだ情報に惑わされることなく、自己成長を目指し、学んでいかなければいけません。

そして、最後に言いたいのは、サイドビジネスを単なる「**お金儲けの手段**」と考えるのではなく、「**学びの環境や自己成長の場**」だと考えてほしいということです。

この小冊子を最後まで全て読んでいただけた方と、そうでない方との差は、今後非常に大きな差となり、結果も大きく変わっていくものだと思います。

このように、たったひとつの情報を知るのと知らないのとでは天と地ほどの差が出てしまうことはよくあることです。

「知らなかった・・・」では済まされない情報というものも世の中たくさんあるものです。

そのため、この小冊子をご縁に今後何らかのお付き合いをしていく方がいらっしゃったなら、ここに書ききれなかった情報や新たな情報なども出し惜しみすることなく、今後、様々な情報をご提供していきたいと考えております。

それが私どもの使命だと思っているのです。

最後になりましたが、この小冊子を読まれたあなたが、物心両面の成功を掴まれること、心から願っています。

最後までお読み頂いたあなたに深く感謝。

